

1	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	13854028	シナプスにおける逆行性伝達物質としての内因性カンナビノイドの作用機構と生理的意義	狩野 方伸(大阪大学・大学院医学系研究科・教授)	A+
<p>(意見等)</p> <p>本研究では、シナプスにおける逆行性伝達物質としての内因性カンナビノイドの作用機構と生理的意義に関して、内因性カンナビノイドの生理的放出条件、生合成経路、シナプス伝達における役割等を明らかにした。これらの発見は、それまでほとんど知られていなかった中枢シナプスにおける逆行性伝達のメカニズムと生理的意義を明らかにした点で、期待以上の研究の進展があったと判断される。</p> <p>また、国際的に激しい競争下で世界のトップをきって成果を得、一流学術誌に多数の論文を発表しており、神経科学領域に多大の貢献をしたといえる。</p>				
2	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	13854029	眼球運動系を手がかりとする精神機能の脳内メカニズムの解明	伊佐 正(生理学研究所・発達生理学研究系・教授)	A+
<p>(意見等)</p> <p>本研究は、精神機能をよく反映する眼球運動を指標として、遺伝子改変マウスを用いた神経回路の分子機構の解析、齧歯類脳スライス標本を用いた局所神経回路の解析、麻酔下ラット・サルを用いた神経信号処理機構の解析、無麻酔サルを用いた慢性記録、破壊、行動実験など多様な実験系を駆使して高次神経機能のメカニズムを解明しようとする独創的かつ挑戦的なプロジェクトである。</p> <p>すでに多くの学術論文が神経科学分野の一流誌に発表されていることから明らかなように、期待以上の研究の進展があったと判断される。</p>				